

シンポジウム『サステナブル社会の建築とまちづくり』

ー環境先進国ドイツとEUの実態に学び日本のコンパクトシティ化に弾みをつけるー

2013年10月31日(木) 18:00～20:30 ※シンポジウム終了後、懇親会を予定しております。

会場：ドイツ文化会館 1階 OAGホール(〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56)

会費：入場料/1,000円(資料代込)・懇親会/1,000円 (会費は、当日現金払い)

定員：250名(先着順受付) (東京建築士会所属の方は、CPD3単位)

20世紀の近代化過程におけるドイツと日本の住生活の場づくりの変遷と系譜を整理し、その中で構築されてきた現代の建築・都市のあり方を新たなサステナブル社会(持続可能社会)との関わりでどのように考えるべきかを探ります。ハイクオリティな住環境づくりに向けての国内外の取り組みの差を比較検討し、これからの時代に相応しいまちづくりの在り方について考える機会となればと思います。



連邦庭園博の中で花畑にしたボタ山



1899年建造の揚重式の施設

◆プログラム

1. 基調講演：「サステナブル社会の建築・都市のあり方、造り方」ー60年代末からの日独社会での体験からー

講師：澤田誠二 (一般社団) 団地再生支援協会副会長・元明治大学教授 [建築社会システム]

2. パネルディスカッション:「サステナブルな住環境を実現するために」

モデレーター：浅野 忠利 NPO 屋上開発研究会顧問・元(株)竹中工務店常務取締役
 パネリスト：大月 敏雄 東京大学大学院建築学専攻准教授 [集合住宅研究]
 織田 正雄 (公益財団) 日独協会理事・元ベルリン日独センター コーディネーター [企業誘致]
 長谷 見雄二 早稲田大学理工学部建築科教授 [都市防災]

【ドイツ文化会館OAGホールへのアクセス】



主催：NPO 法人 文化日独コミュニティー(JGCC)

特別協力：積水ハウス株式会社・大和ハウス工業株式会社・株式会社 LIXIL・YKK AP 株式会社

後援：ドイツ連邦共和国大使館・(公財)日独協会・ドイツ学術交流会(DAAD)・OAGドイツ東洋文化研究協会・日本フンボルト協会・(一社)日本建築学会(公社)日本建築士会連合会・(一社)東京建築士会・稲門建築会・明建会・(一社)団地再生支援協会・日本都市計画家協会

お問合せ：NPO法人 文化日独コミュニティー(JGCC) 事務局

FAX：03-5634-6433

E-mail：kashimura@jgcc.or.jp

URL：http://www.jgcc.or.jp

FAXお申込書 ⇒ FAX: 03-5634-6433 NPO法人 文化日独コミュニティー(JGCC) 事務局 行

ふりがな 氏名	ふりがな 勤務先
住所	懇親会 出席 欠席
TEL	FAX
E-Mail	所属団体